

リユースびん推進に向けた 全国の動向

はじめに(本資料について)

- リユースびん推進に向けた、直近の全国動向を整理。

<紹介する内容>

- (1)リユースびん推進に向けた国の動向
(リユースシステムの在り方検討会の開催)
- (2)居酒屋・業務店からの取組み(ワタミ)
- (3)びん回収システムの構築(宮城方式)
- (4)地域での取組み(郡山市リユースモデル)

(1)リユースびん推進に向けた国の動向

- びんリユースに関する検討会を設置、平成23年度から本格的に事業実施
- 「我が国におけるびんリユースシステムの在り方に関する検討会」を設置し、びんリユースの推進し、平成23年度からリユースシステム構築支援を目的とした事業を実施予定。
- <検討会の背景と目的>
- 循環基本法においてリデュース・リユースの優先順位がリサイクルよりも上
- 一方、リユース容器の代表的な事例であるびんリユースは近年減少傾向、現在ある一升びん等の瓶リユースの基盤を維持しつつ、新たなびんリユースシステムの構築を推進が必要。
- こうした状況を踏まえ、びんリユースが成立する要件及び今後の推進方策を整理。(現時点では、酒類(焼酎・清酒)を中心に検討)
- 平成23年度に新たなリユースシステムの構築支援を目的とした事業実施予定。

「我が国におけるびんリユースシステムの 在り方に関する検討会」の概要

- 第1回検討会 平成23年2月1日(火)
 - 関係者からのヒアリングを実施
 - ガラスびん促進協議会、全国びん商連合会、
日本P箱レンタル協議会、日本酒造組合中央会、
株式会社エコサポート
- 第2回検討会 平成23年2月22日(火)
 - 関係者からのヒアリングを実施
 - 東北びん商連合会、ワタミ株式会社、
大口酒造株式会社
 - びんリユースシステムの成立の条件の整理
- 第3回検討会 平成23年3月22日(火)予定
 - リユースシステムの在り方について(取りまとめ案)

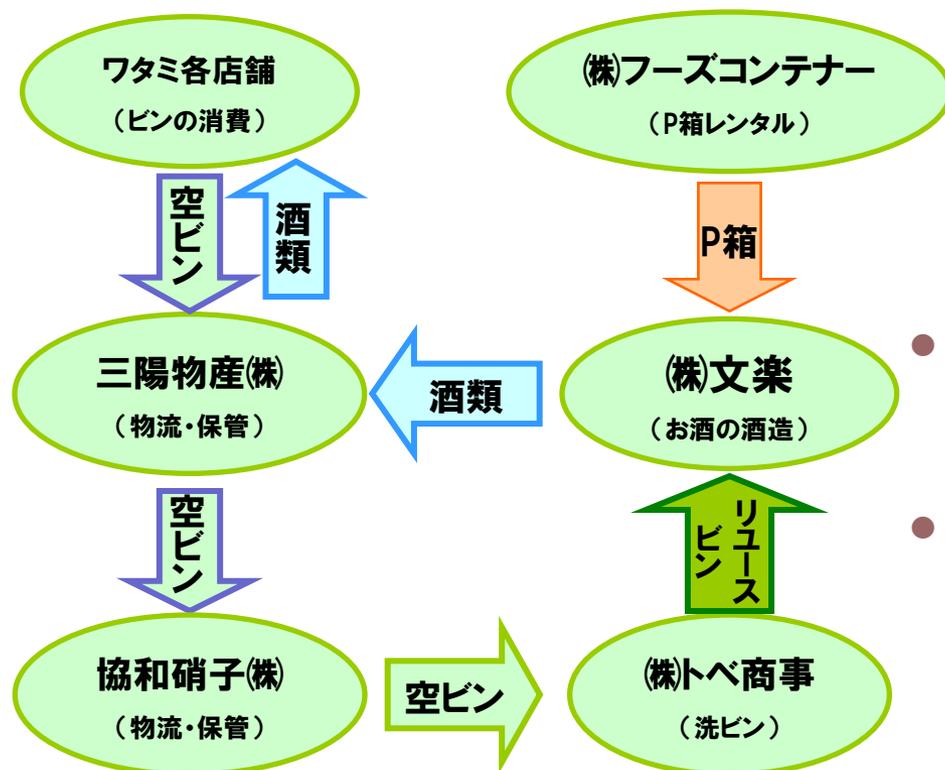
「我が国におけるびんリユースシステムの 在り方に関する検討会」の概要

＜検討会メンバー＞

- 安井 至(座長) 東京大学名誉教授
- 浅利 美鈴 京都大学環境保全センター 助教
- 今堀 洋子 追手門学院大学経済学部 准教授
- 小沢 一郎 株式会社エコサポート
- 小野田 弘士 早稲田大学環境総合研究センター 准教授
- 織 朱實 関東学院大学法学部 教授
- 後藤 忍 福島大学理工学群 准教授
- 馬奈木 俊介 東北大学大学院環境科学研究科 准教授
- 幸 智道 ガラスびんリサイクル促進協議会 事務局長
- 吉川 康彦 全国びん商連合会 会長

(2) 居酒屋・業務店からの取組み(ワタミ)

- ワタミグループでプライベートブランド商品(PB商品)についてリユースシステムを確立



- 店舗から排出されるびんを、専用P箱に戻し、配送ルートで回収、びん商業者で洗浄、再び酒造メーカーへと循環。
- また、リユースびんを売買することで、関係各社がボランティアではなく事業として成立させる持続可能な仕組みを創った。

(2) 居酒屋・業務店からの取組み(ワタミ)

- 販売7,800本/月のうち、6,400本/月が回収される(約8割)。
- 洗浄され酒造メーカーに戻るのは5,040本/月(約65%)
- 現在は関東地域(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県)を中心に、379店舗(全629店舗のうち約6割)で実施。

- 今後のテーマとして、以下3つを挙げられる。

①普及啓発とワタミ以外の外食業者の参加

②エリア拡大

③対象商品拡大

対象商品:720ml焼酎びん

消費量:約5,000本/月

(3) R300mlびんの回収システム(宮城方式)

- 宮城県酒造協同組合が、300mlびんを対象に、回収時のみにP箱を利用するシステム(宮城方式)を構築
- 平成21年度容器包装3R推進環境大臣賞 域連携協働部門の最優秀賞に選ばれる



- 宮城県内の静脈物流領域(消費者からメーカーへの流れ)に使用を限定した「R300mlびん用専用回収箱」を作成し、宮城県内でR300mlびんのリユースを促進させるシステム。
- 酒造組合、蔵元、びん商県支部など業界、行政も含めた取組み。
- R300mlびん使用製品の県内出荷数量の約55%に当たる約22万本をリユースへ。

(4)「郡山市リユースモデル」の取組み

- 郡山市という地域に根ざしたリユースモデル構築に向けた取組み
- びん再使用ネットワーク(生協)が中心となり取組みを進めているところ。
- 以下のような取組みを予定している点が特徴
 - 市民、蔵元、販売者、流通、行政が参加する協議の場を設置
 - 容器の規格統一化(びんとP箱)
 - 回収状況が把握できるリユース管理システムの構築
 - リユースを全国展開するためのネットワーク化
 - 全国でのリユースの取組みと連携

※「びん再使用ネットワーク」は 環境保全・資源循環型社会の構築を目指した生協団体のネットワーク

出典一覧

- 本資料は、以下の情報源をもとに作成しております。
詳細は各URLをご参照。
- (1)、(2)、(3)、(4)の出典・参考資料
 - 環境省「我が国におけるびんリユースシステムの在り方に関する検討会」
(第1回、第2回資料)
 - (http://www.env.go.jp/recycle/yoki/dd_2_council/index3.html)
- (2)、(3)の出典・参考資料
 - ガラスびんリサイクル促進協議会「リターナブルびんナビ」
 - (<http://www.returnable-navi.com/index.shtml>)